

09 来場者数の多い花博の共通点

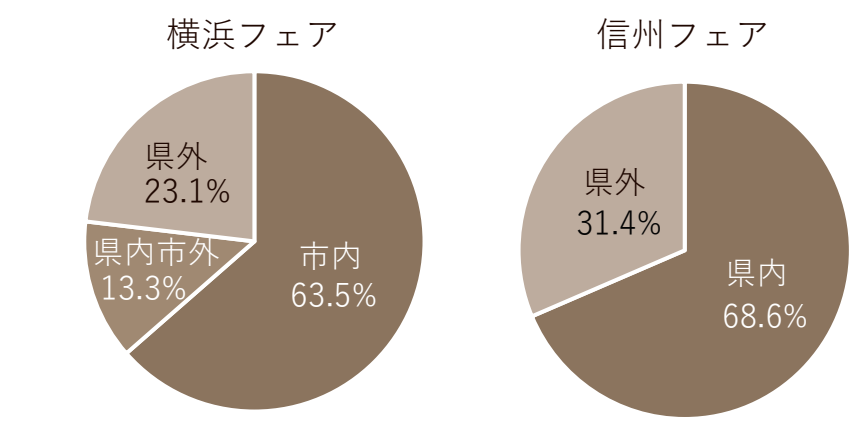
全国の花博（全国都市緑化フェア）を対象に開催地、入場料、開催期間の項目で来場者が多い花博に共通点があるか調べた。

1 位	ガーデンネックレス横浜 2017	600 万人	無料	30 日間	3/25(金)～6/4(土)
2 位	モアグリーン東京	550 万人	無料	37 日間	10/5(木)～11/10(土)
3 位	しずおか国際園芸博覧会	545 万人	2,900 円	187 日間	4/8(木)～10/11(月・祝)
4 位	TOKYO GREEN2012	516 万人	無料	30 日間	9/29(土)～10/28(日)
5 位	花と緑のあいち 2015	321 万人	－	58 日間	9/12(土)～11/8(日)

【図8】全国都市緑化フェアの来場者数ランキング

- ・都市や中枢都市などで開催されている。
- ・入場料を取らないほうが来場者は多い。
(ただし無料開放のため、正確な数が取れているか不明)
- ・開催の季節と来場者数に関係性はみられない。
- ・開催期間は1～2か月

来場者は開催地の近隣からくるのか、遠くからくるのか来場者アンケートをもとに調査した。なお、アンケート結果が開示されておりかつ、来場者数の多いフェアと数ないフェアで差があるか比較するために来場者が多かった横浜フェアと少なかった信州フェアを対象にした。



【図9】全国都市緑化フェア来場者の属性

- ・会場の近くから来る人が6～7割。
- ・人口が多い大都市や地方の中心都市で開かれる花博のほうが来場者が多い。

会場周辺の都市の人口が多く、交通アクセスが良いことが多くの来場者を呼び込む要因と考えられる。

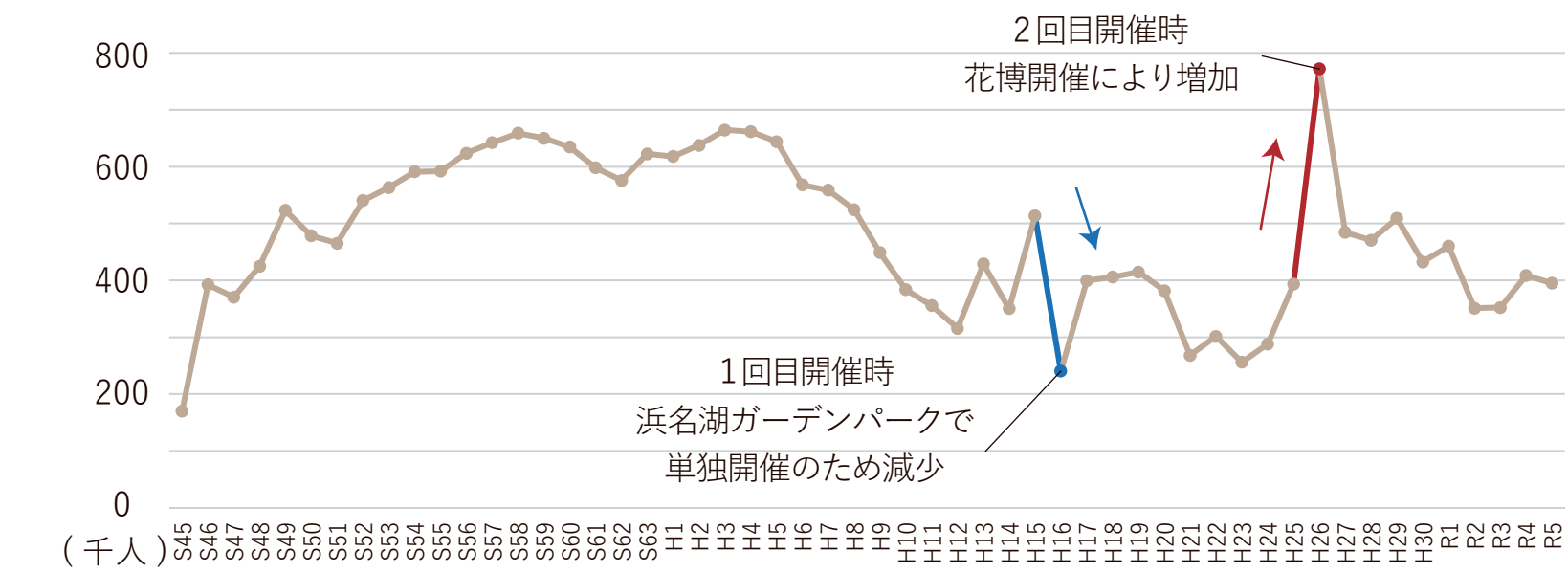
10 浜名湖花博の会場の変化

3 回の浜名湖花博について、当時の写真やマップを使い建物や庭園、展示内容を比較した。※比較しやすいよう、浜名湖ガーデンパーク会場のみを対象にしている。

愛称	第1回花博2004年 しずおか国際園芸博覧会 「パシフィックフローラ 2004」	第2回花博2014年 浜名湖花博 2014～花と緑の祭典～	第3回花博2024年 浜名湖花博 2024
主催者	国際園芸博覧会 全国都市緑化フェア(国土交通省)	全国都市緑化フェア (国土交通省)	20周年記念事業 (静岡県・浜松市)
事業規模	大		小
建物の数 ※一部庭園、ゲート含む	16 (新設16)	7 (新設1)	7 (新設0)
造形物の大きさ	大		小
テーマ	花・緑・水～新たな暮らしの創造～	花と緑のオーケストラ ～水辺で奏でる未来の暮らし～	人・自然・テクノロジーの架け橋 ～レイクハマナデジタル田園都市～
新しくみられる 特徴的な展示	国際色豊かな展示	花のアート 個性的な造形物	最新のデジタル技術 を活用した展示
植物の調達先	8割が県内産	記載なし	7割が県内産
花博開催の目的	<ul style="list-style-type: none">・国際的な園芸文化の普及・新たな観光施設の開設・花卉産業の振興	<ul style="list-style-type: none">・公園の整備・新しい技術の導入による公園の更新・花卉産業の振興	

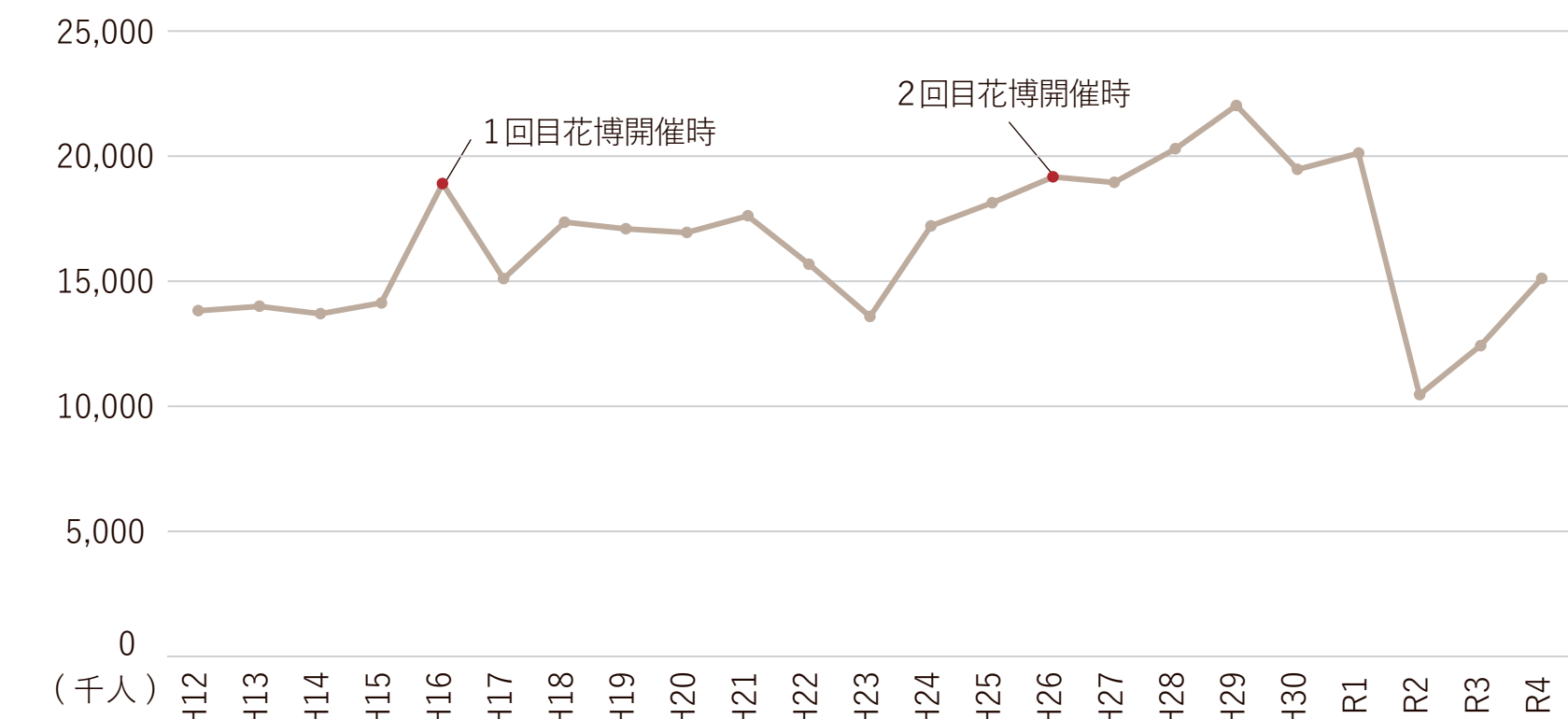
11 周辺観光施設への影響

花博開催によって観光施設への影響はあるのか調べるため、はままつフラワーパークの年間来場者数をグラフ化し、花博の会場の時と会場でないときの来場者数の比較をした。



【図10】はままつフラワーパークの年間来場者数(S45～R5)

浜名湖周辺の観光施設は、静岡統計センター(令和4年の年間客数が千人以上が対象)によると190施設で浜名湖周辺に特に集まっている。浜松市の年間観光客数は以下になっている。



【図11】浜松市の年間観光客数(H12～R4)

- ・花博開催は周辺施設の集客に影響を与えていると考えられる。
- ・しかし花博開催は浜松市全体の観光でみるとそこまで影響力があるとは言えない。

12 浜名湖花博の継承事業

花博開催後多くの会場では継承イベントを行っており、浜名湖花博も第1回開催の翌年から開催し、2009年で一度終了したものの第2回花博開催の2015年以降再開し、毎年継承イベントを行っている。毎年継承イベントを行っている。浜名湖及び静岡県西部の7つの公園と庭園を中心の会場とし、浜名湖のガーデンソールズム普及を目的としている。今年2024年も「浜名湖花フェスタ」と称し、花博と同時開催された。



【図12】花博継承イベントの中心会場

- ・浜名湖の新たな観光資源開拓のきっかけとして花博を開催している。
- ・花博のレガシーを長く残すために継承イベントが毎年行われている。



【図13】花博継承事業イベントのチラシ

13 まとめ

浜名湖花博が10年毎開催の理由は、全国都市緑化しずおかフェア(浜名湖花博)1回目が盛況で終わったなか、2回目のが偶然10年後の2014年に緑化フェア開催地に選出されたことからそのレガシーを残すために3回目も10年後開催していると考えられる。継続の理由は、浜名湖花博のレガシーを継承するため、観光振興、地場産業の活性化、都市公園整備という複数の目的があり意義があると分かった。よって、今後2034年に4回目の浜名湖花博が開催される可能性も十分にあると考えられる。